

令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

児童相談所における虐待による乳幼児頭部外傷事案における安全確保策に関する調査研究事業

<実施主体名>

有限責任監査法人トーマツ

本事業は、児童相談所の職員が、虐待による乳幼児頭部外傷事案について有効な安全確保策を講ずることができるようにサポートすることを目的に、児童相談所における虐待による頭部外傷（以下、「AHT」という。）のケースの受理・対応状況の実際を把握しつつ、有効な安全確保策を講ずるために必要な事項やケースワークにおける工夫点等のノウハウを収集・分析し、検討して取りまとめたものである。

本事業においては、上記目的のもと、①検討委員会の設置・開催、②作業部会の設置・開催、③児童相談所へのアンケート調査作業部会の設置・開催、④児童相談所へのヒアリング調査、⑤成果物の完成・公開といった5つの活動を行った。

児童相談所へのアンケート調査では、成果物の作成に資する情報を得るために、①AHTケースの通告・対応状況や、②AHTケースワークについて有効な安全確保策を講ずるために必要な事項やケースワークにおける工夫を把握するために、全国228所の児童相談所を対象に実施した。また、児童相談所へのヒアリング調査では、成果物に資する情報を得るため、AHTケースについて、終結に至るまでの一連の対応（ケースワーク）体制や具体的なフロー、対応困難場面への対応ノウハウ等を聴取するために、10所の児童相談所を対象に調査を実施した。

上記アンケート調査及びヒアリング調査から児童相談所におけるAHT事案への対応を明らかにし報告書に示すとともに、この調査結果を踏まえて、現場のケースワークに資するよう「虐待による乳幼児頭部外傷事案（AHT）のパターン別・児童相談所における対応のポイント集」を作成した。